



「とねりん」
利根町観光協会
イメージキャラクター

とねまち 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報紙

1月臨時会
3月定例会

No. 158
2022.5.6

令和4年3月29日撮影
利根っ子公園

令和4年第1回 議会定例会 議案概要

議案第3号 行政手続等における押印等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例……………【原案可決】

行政手続等における押印及び署名の見直しの実施に伴い、関係条例を改めるものです。

議案第4号 利根町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

国家公務員法の改正により非常勤職員の育児休業及び部分休業の取得要件の緩和が図られることから、町においても同様の対応をとるため条例を改めるものです。

議案第5号 利根町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例……………【原案可決】

人事院勧告に基づき、職員等の期末手当の支給率を改め、また、医師に適用する医療職給料表を改めるものです。

議案第6号 利根町生涯学習施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

布川地区コミュニティセンターを生涯学習施設に組み入れ、料金体系の見直しと利用制限緩和を図るため、条例を改めるものです。

議案第7号 利根町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

令和3年12月に議決した条例に、さらに子育て世帯への支援策を新たに追加するため条例を改めるものです。

議案第8号 利根町緑地運動公園ゴルフ練習場管理条例の一部を改正する条例 ……【原案可決】

休業日である月曜日及び12月29日から12月31日までを営業日としたいので規定を改めるものです。

議案第9号 令和3年度利根町一般会計補正予算（第11号）……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ2億499万3千円を追加し、総額69億4,509万8千円とするものです。

議案第10号 令和3年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）……………【原案可決】

事業勘定予算額から歳入歳出それぞれ1,444万1千円を減額し、総額21億1,893万9千円とするものです。診療所の施設勘定予算額に歳入歳出それぞれ60万円を追加し、総額1億4,272万2千円とするものです。

議案第11号 令和3年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）……………【原案可決】

予算額から歳入歳出それぞれ1,400万4千円を減額し、総額2億9,820万1千円とするものです。

議案第12号 令和3年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第4号）……………【原案可決】

予算総額に増減はありません。霊園區画永代使用料として歳入があったため、基金繰入金を繰り戻しするものです。

議案第13号 令和3年度利根町介護保険特別会計補正予算（第4号）……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ559万8千円を追加し、総額16億3,467万4千円とするものです。

議案第14号 令和3年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）…【原案可決】

予算額から歳入歳出それぞれ424万2千円を減額し、総額5億4,119万8千円とするものです。

議案第15号～第22号 利根町農業委員会委員の任命について……………【全件同意】

議案第15号から第22号までの8件は、農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定により、議会の同意を得るものです。（詳細は人事案件欄参照）

議案第23号 利根町固定資産評価審査委員会委員の選任について……………【同意】

地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を得るものです。（詳細は人事案件欄参照）

議案第24号 龍ヶ崎市の公の施設を本町住民の使用に供させることに関する議決事件の変更について……………【原案可決】

相互利用できる施設名称等を変更するものです。

議案第25号～第31号 令和4年度利根町一般会計予算・特別会計予算……………【全件可決】

詳細については予算審査特別委員会のページをご覧ください。

委員会提出議案第1号 利根町議会基本条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

利根町総合振興計画における町が目指す将来像との整合性を図るものです。

人事案件

▼議案第15号～第22号利根町農業委員会委員の任命について

【任 期：令和4年4月1日から令和7年3月31日】

- | | | | |
|---|----------------------|---|----------------------|
| ● | ろっほんぎ たかし
六本木 孝 氏 | ● | たかはし かずこ
高橋 和子 氏 |
| ● | ほんや かずよ
本谷 和代 氏 | ● | いしつか こずえ
石塚 梢 氏 |
| ● | すぎの としかず
杉野 壽一 氏 | ● | かわむら しんいち
川村 進一 氏 |
| ● | すぎやま みさお
杉山 操 氏 | ● | ふるや まさあき
古谷 正昭 氏 |

▼利根町固定資産評価審査委員会委員の選任について

【任 期：令和4年3月17日から令和7年3月16日】

- さいとう えいかん
齋藤 栄幹 氏

令和4年第1回議会定例会

3月定例会

令和4年度 予算を可決



◆全会計◆
109億7,455万2千円

◆一般会計予算◆
62億1,339万7千円

一般会計歳入

項目	金額(千円)
町税	1,208,407
地方譲与税	98,730
利子割交付金	900
配当割交付金	6,500
株式等譲渡所得割交付金	9,500
法人事業税交付金	6,700
地方消費税交付金	305,000
自動車税環境性能割交付金	6,500
地方特例交付金	6,001
地方交付税	1,953,492
交通安全対策特別交付金	1,678
分担金及び負担金	12,878
使用料及び手数料	36,586
国庫支出金	645,197
県支出金	445,794
財産収入	20,067
寄附金	15,001
繰入金	569,891
繰越金	100,000
諸収入	105,675
町債	658,900
合計	6,213,397

全会計

会計名	予算額(千円)	
一般会計	6,213,397	
特別会計	国民健康保険(事業)	2,097,051
	国民健康保険(施設)	138,602
	公共下水道事業	282,765
	町営霊園事業	30,519
	介護保険	1,619,246
	介護サービス事業	13,138
	後期高齢者医療	579,834
合計	10,974,552	

一般会計歳出(目的別費用)

項目	金額(千円)	構成比(%)
議会費	96,856	1.6
総務費	950,687	15.3
民生費	1,939,140	31.2
衛生費	479,724	7.7
農林水産業費	296,523	4.8
商工費	77,576	1.2
土木費	488,862	7.9
消防費	361,346	5.8
教育費	1,106,932	17.8
公債費	374,135	6.0
諸支出金	36,616	0.6
予備費	5,000	0.1
合計	6,213,397	100.0

予算審査特別委員会

《報告》 予算審査特別委員会 船川 京子 委員長

本委員会は令和4年3月2日本会議において設置され、「議案第25号 令和4年度 利根町一般会計予算」から「議案第31号 令和4年度 利根町 後期高齢者医療特別会計予算」までの7議案について付託されたものです。



予算審査特別委員会は、土日を除く3月10日から3月15日までの4日間、委員10名出席のもと開催し、町長・教育長をはじめ各課長及び担当職員の出席を求め慎重なる審査を行いました。

予算額については、別表のとおりです。

「議案第25号 令和4年度利根町一般会計予算」の表決の結果、賛成6、反対3で可決。議案第26号から議案第31号については全会一致で可決でございました。

最小の予算で、最大の効果をあげるとともに、今後も行政改革を進め歳出抑制に努めていただきたいと思います。以上、今定例会で付託された議案は全て原案どおり可決しております。

○別表

議案	会計別	予算額
第25号	一般会計予算	62億1,339万7千円
第26号	国民健康保険特別会計予算（事業勘定）	20億9,705万1千円
〃	〃（施設勘定）	1億3,860万2千円
第27号	公共下水道事業特別会計予算	2億8,276万5千円
第28号	町営霊園事業特別会計予算	3,051万9千円
第29号	介護保険特別会計予算	16億1,924万6千円
第30号	介護サービス事業特別会計予算	1,313万8千円
第31号	後期高齢者医療特別会計予算	5億7,983万4千円
合 計		109億7,455万2千円



討論

上程された議案に対し、下記の討論がありました。
(登壇順に記載しています。記事は原則各議員が作成したものです。)

〈議案第25号 令和4年度利根町一般会計予算〉

反対討論 石井 公一郎 議員

一般会計の予算は約62億円。人口の減少、高齢化が進み、町税は約12億円。伸びは望めません。財政不足を補うために基金を取り崩して予算を編成。支出では、町長、教育長、議員給料等の引上げ、人件費は約15億7千万円で全体の25%を占めており、町税で人件費が賄えない。文小、文間小を布川小への統合に3億円の金額が支出される見込み。厳しい財政状況で支出を削減しなければならない。そういうことで私は反対します。

賛成討論 大越 勇一 議員

令和4年度の予算規模は62億1,339万7千円で前年度比4億9,903万1千円の増で率にして8.7%の増です。町民生活重視の政策を優先した予算編成になっております。注目する事業としては、ふれ愛タクシー運行事業では、ふれ愛タクシーを1台増車してJA取手医療総合センターに乗り入れを行う等、住民サービスの向上に繋がる事業が当初予算に盛り込まれております。効率的な行政経営を着実に進めることを願い議案第25号に賛成いたします。

反対討論 片山 啓 議員

人口減少が続くこの利根町で、町税の増収は見込めません。人件費を抑えることが喫緊の課題であるという認識は皆さんも同じと思います。この予算も人件費が前年比2.4%増、全支出の25.3%を占めております。第二の夕張になると危機感を持っていた町長は何処へ行ってしまったのでしょうか。「今が良ければいい」では将来の利根町はどうなるのでしょうか。このような観点からこの予算に反対します。

賛成討論 五十嵐 辰雄 議員

町民と行政が一体となり費用対効果をよく考え、有効に予算編成を行いました。町長は様々な行政需要に対して対話型行政により事業を厳選しています。予算審査特別委員会では、執行部の説明に対し積極的に質疑を行い予算内容は理解いたしました。農業は町の基幹産業で、省力化、担い手育成を目的に基盤整備事業も順調に進めています。令和5年4月開校する利根小学校に向けて、事務事業を行っています。したがって賛成します。

反対討論 井原 正光 議員

歳出予算は人件費が突出しています。歳出予算の25.3%を占め、福祉予算が減ったということです。福祉の面が充実しないと、住みにくい町と言われ人口減少、過疎化が進みます。2年も続くコロナ禍で、大事なことは、福祉の充実を図り、生活に困っている人がいたら予算を組んで対策を講じるべきで、その人を尻目に自分の給料を上げる予算に反対します。

賛成討論 若泉 昌寿 議員

町長、教育長、議員の給料等は、値上げじゃなく元に戻すのです。主な事業としては、ふれ愛タクシーの増車に加えJAとりで総合医療センターへ行けるようになります。それと防

犯カメラの増設、親水公園改修工事及び駐車場整備、まちなか商店街活性化事業などが盛り込まれております。高齢者の多い利根町にとって、町民目線での事業を展開しており町民のために組まれた予算だと思いましたので賛成します。

賛成討論

山崎 誠一郎 議員

蔓延防止解除後のウィズコロナ及びウクライナ侵攻後の物価高が懸念される中、この一般予算が通過しない事は町行政の停滞を招くことになる。まだまだ続くワクチン接種にも影響を及ぼす。この二年間において大打撃を受けている農家の皆さんへの10アール当たり5千円の支援策も組み込まれている。私が3年に渡り取り組んできた防犯カメラの増設も組み込まれている。以上により令和4年度一般会計予算の賛成討論とする。

賛成討論

船川 京子 議員

議員報酬や小学校統合等が反対討論の内容になっているが、すでに議会としては、条例を可決しているので、執行部としては議決された内容を予算に反映したものと認識している。故に反対の根拠には当たらないと考える。またコロナ交付金の活用等も、説明を受けたうえでの予算編成となっている。最小の予算で最大の効果を上げることを目指す姿勢が感じられ、令和4年度利根町一般会計予算に賛成する。

動議

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議 全会一致で可決！

提出者 山崎 誠一郎 議員

ロシアによるウクライナ侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく損なう、断じて容認することができない暴挙で、ウクライナに拠点を持つ日本企業をはじめ、現地在留邦人は緊迫した状況のなか、安否確認の対応に迫られる等、厳しい状況におかれている。

このような力を背景とした、一方的な現状変更への試みは明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので断じて看過できない。

ここで利根町議会は、ロシアに対し、一連のウクライナへの軍事侵攻に厳重に抗議するものである。

政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図り即時無条件でのロシア軍の完全撤退を求めるべきである。

以上決議する。

令和4年3月2日

利根町議会

請願第1号

「小学校統合問題に関する請願書」

賛成少数で不採択

請願者：中野 賢三 氏

紹介議員：片山 啓 議員

【請願要旨】

1. 布川小への統合に住民の合意ができていない
2. 適正規模・適正配置からの検討だけでは不十分
3. 茨城県の小学校の現況を見ながら再検討すべきではないか
4. 新しい町づくりプランと小学校統合の矛盾

令和5年度に予定されている布川小学校への統合を中止するよう請願する

▽請願審査報告 厚生文教常任委員会 石井 公一郎 委員長

厚生文教常任委員会に付託された請願について、3月8日午後1時30分より委員全員出席のもと、慎重なる審査を行いました。委員会の審査の経過と結果についてご報告いたします。

まず初めに、請願第1号小学校統合問題に関する請願書について、会議規則第93条の規定により、紹介議員である片山啓議員に説明を求め、その後に質疑を行いました。

質疑の主な内容ですが、委員から、「この小学校統合については議会で議決した。これは、利根町の意味決定で、そのため議会の重みは相当ある。令和3年度予算も可決し、令和5年開校に向けて頑張っていることについて、紹介議員は承知か。」との質疑があり、紹介議員の答弁として「議会の議決は承知している。ただし、こういう町民の声があるということに対して、議員は、真摯に耳を傾けるということも大事なことだと思い、この請願の趣旨に共感を得るところがあったので紹介した。」との答弁がありました。

また「小学校統合について、多くの住民が知ったのはつい最近のこととあるが、このつい最近とはいつ頃か。」との質疑に対し、「去年の町長選挙の時だと聞いている。」との答弁でありました。それに対し、「令和2年1月28日から3月3日まで、小学校統合基本方針に対してパブリックコメントを出せる時期があった。このようなパブリックコメントは、請願者の方が、町への意見を届けるという入り口の一つだと思う。パブリックコメントで、意見を届けるということはしなかったのか。」との質疑に対し、「請願者は、先ほど申し上げたとおりこの前の町長選挙のときに知ったということだから、当然してないと思う。」との答弁でした。

また「一番大事なことは、児童生徒が、統合したことによって切磋琢磨して思考力や判断力、そして問題解決能力などを育み、社会性、希望意識にすぐれさせること、地域コミュニティとしての生活配慮も考えつつ、子供たちが、勉学に励みながら大人になるためのステップアップをどうしたらいいのか。この請願書を見ると、子供の立場に立ってない。ただ、地域住民に説明がないから統合反対だと。その点はどのようにお考えか。」との質疑に対し、「確かにこの請願書には子供のことを書いてなくて、大人のことが書いてあり地域住民が主眼になっている。しかしまちをつくるためには、地域住民の力は大変重要で、地域のコミュニティづくりは今も昔も、小学校を核とした、コミュニティづくりで進んできたのが多い。今後、ますます少子高齢化が進む町で、住民がお互いに助け合っていかなければいけない社会が、もう既にスタートしている。そうした中、その核となる学校がなくなるということに

対する懸念を非常に強く持っている。」ということの答弁でありました。

その他、各委員より活発な質疑が行われた後、討論を行いました。2名の委員から反対討論、1名の委員から賛成討論があり、請願第1号は賛成少数で不採択とすべきものと決定いたしました。以上報告します。

討論

請願第1号に対して、下記の討論がありました。
(登壇順に記載しています。記事は原則各議員が作成したものです。)

反対討論

大越 勇一 議員

請願書には、「住民の多くが小学校統合を知ったのはつい最近である」とされておりますが、町は、平成30年1月に小学校統合調査検討委員会を立ち上げ、町のホームページにて公開しています。議会においても、一般質問で取り上げられ、議会だよりにも掲載しました。請願者や、統合に反対している方々は小学校に通う子供達や、保護者の目線で物事を考えていないと思います。以上のことから令和4年請願第1号に反対致します。

反対討論

五十嵐 辰雄 議員

請願するには紹介議員がなければ受理されません。厚生文教常任委員会の副委員長である片山啓議員です。令和3年第1回定例議会3月で条例改正案が議決され、令和5年4月新しい利根小学校が開校します。利根町的意思決定です。今、立ち止まって請願により混乱を起こすことは、児童生徒、保護者、町民の皆様、加えること、統合にご尽力された皆様に甚大な影響を与えかねません。請願者は、憲法第16条に基づく請願権の行使です。

反対討論

若泉 昌寿 議員

複式学級は、2学年が一つのクラスになります。野球、サッカー、バレーボールやドッジボール、1クラスではなかなかスポーツも出来ない状況になってしまいます。やはり、子供たちは、大勢の中で勉強し運動し、そして切磋琢磨して社会に出て行っていただきたいと思います。統合して利根小学校になれば児童数も多くなり、それぞれ競争心が芽生えお互いに張り合って勉強や運動などに励んでいただけたらと思います。請願に反対します。

賛成討論

井原 正光 議員

住民に理解されるべき努力をしないから請願が出されました。趣旨は町の将来を憂いている内容です。すでに議会で議決されているからでなく、議会でもう一度考えてくれよ、という声を大切に慎重に審議すべきで、紹介議員を爪はじきするような言葉であったり、傍聴席から議員が「そんなの知らないのかよ」といった発言、実に恥ずべきことです。町民の心に戻って公平に意見は尊重すべきです。

反対討論

山崎 誠一郎 議員

一年前に民主的な手続きを経て可決された案件である。一年後に迫った統合に向け、関係者の皆様が一生懸命、諸問題に対しご努力されている。今回の請願には地域コミュニティ等の大人の考えは多くありましたが、実際に通学する子供達と保護者側の考えはありませんでした。私は、学校は子供達の勉強する場所である。子供達をより良い環境で勉強させてあげることが議員としての責任であると一年前の採決時から一貫して発言している。

賛成討論

片山 啓 議員

住民の声を議会に届ける一つの方法として請願があり、紹介議員が必要とされています。賛成反対の意見はそれぞれあっていいと思いますが、住民が請願を出すということは勇気のある行動だと思います。請願者の声を真摯に聞いてほしいと思い、参考人として呼んでいただけないかお願いしたところ、予算措置がないと却下されました。いずれにしても住民の声には真摯に耳を傾けるべきだと思いますので賛成いたします。

反対討論

石山 肖子 議員

教育とは家庭、学校、地域が総がかりで進めていくものであり、生涯学習環境も含めた概念だと捉える。現在の社会状況では、子どもの居場所が少なくなり孤立化する傾向が見られ、地域の子育てコミュニティの醸成が求められている。どのような居場所が子どもに必要なか、大人がどのようなソフトの部分に携わるかという議論が必要である。現在の小学校統合事業は子どもを中心に考えた方向性であるので、この請願に反対する。

賛成討論

石井 公一郎 議員

議員は、住民の立場になって意見を聞いて、それを行政に届ける。これが一番だと思う。学校は耐震工事も出来た。クーラーも子供たちのために全部設置した。子供たちが勉強しやすい環境を作った。まだ10年も経過していない。国庫補助金の問題。文小も文間小も子供たちが少なくなることは、当然分かっています。複式学級とかになるとすれば、そういう時点で、徐々に、布川小学校に統合していくことが、一番、請願については賛成。

反対討論

船川 京子 議員

複式学級により学級が減少することで、担任外教師の加配制限が生じる。また自治体で教職員を採用することや、小規模特認校を取り入れるなどの再生の道を探るには、時間や学校の整備体制、受け入れ状況など追いつけない現状があると考えます。議会として態度決定し、現場は既に進んでいる。子どもたちにとって望ましい方向へ町全体で力を合わせ進みたい。

反対討論

花嶋 美清雄 議員

この統合問題は、私も保護者という立場もありますが、主役は子供です。10年後、20年後、本当に統合してよかったと思えるよう、教育長と何回もお話しさせていただきました。教育委員をはじめ、町は将来の子供たちのために統合するのであり、この統合はよかったと必ず実感できると思いますので、この請願には反対いたします。



＝町長の施政方針に対する代表質問＝

利根町議会 会派 令和デモクラシー 若泉 昌寿 議員

問

令和4年度一般会計予算についての8項目の重点事業と公約の進捗について質問します。

1. 新型コロナウイルス感染症対策の強化について。変異を繰り返すウイルスですが、今後、町はどのように対処していくのか伺いたいと思います。2. 新型コロナウイルス感染症対策を講じた防災対策の強化について伺います。本町において、毎日感染者が発生しており、町民は不安を持って生活しております。町長の考えを改めて伺います。3. 学校施設整備等に関しては、ほぼ終わっていると思いますが、円滑な小学校統合に向けた学校施設整備等の実施について伺います。4. 布佐駅、取手市への乗り入れ等、公共交通の充実について伺います。5. 新線道路や身近な生活道路の整備促進について伺います。6. 子育て環境と教育の充実について伺います。少子化が進み、いじめ、不登校、特別支援の児童生徒数の増など、これらを少しでも少なくするには、まずは親の力、教員の力量を向上させること、地元の方々の協力が必要だと思います。また、町全体での協力が必要と思いますが、町長の考えを伺いたいと思います。7. 移住定住の促進として、令和4年度から利根町奨学金返還支援補助金を新設し、若者の定住促進を図るとのことですが、町長の考えを伺います。8. 高齢者が困り事として、毎日の買物、通院など、移動手段の確保がございます。高齢者等の皆様の住みやすい、優しいまちづくりについて考えを伺います。

答

1. 新型コロナ感染症対策の強化は、町民の皆様には引き続き基本的な感染対策の徹底をお願いします。また、ワクチン接種が重要と考えますので、希望する方が速やかに接種できるよう努めます。2. 新型コロナ感染症対策を講じた防災訓練を行っているほか、通常の備蓄品に加え感染症対策に必要な物品も揃えております。3. 小学校統合は、令和5年4月開校に向け、昇降口、屋内運動場整備のほかエレベーターの増築・バリアフリートイレの設置、ランチルームの改修、遊具工事を実施します。4. 公共交通の充実については、ふれ愛タクシーのJ Aとりで総合医療センターへの乗り入れが可能となりました。布佐駅までについても交通事業者と話し合いを継続し、利便性の向上に努めます。5. 道路の整備促進ですが、いわゆる狭隘道路の拡幅には地元の皆様の御理解と御協力が必要です。今後の整備につきましては、地域からの要望を起点とし、皆様の安心安全な道路環境整備に努めます。6. 子育て環境と教育の充実については、いま以上に、学校、保護者、地域の皆様との連携が重要と感じます。いじめ問題、不登校が原因で複雑化しスムーズな解決が難しいケースが見られます。諸課題に対応するため、令和4年度から学校運営指導員を配置し、学校への助言・支援体制を構築します。また、専門的な立場からの支援、助言、対策のため、総合教育センターの設置を検討。学校と地域が同じ目線で児童生徒を育てるコミュニティスクールの実現も検討します。7. 移住定住について、PR動画3本を制作し公開しました。利根町を知っていただき移住定住の促進につなげたいと考えます。また、令和4年度に創設する利根町奨学金返還支援補助金については、大学卒業後も継続して当町に居住する場合に奨学金返還額の一部補助にて定住促進を図ってまいります。8. 高齢者等の交通手段については、ふれ愛タクシーや福祉バスなどがございます。また、移動販売事業の見直しにより、さらなる利便性の向上を図っているところであります。

町政のここが聞きたい

一般質問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 成年後見制度の仕組みと利用法について

答 成年後見制度を活用し老後の安心を守る **五十嵐 辰 雄 議員**

問 成年後見制度は、認知症、精神障害、知的障害など判断能力が不十分な人の財産管理や日常生活で不利益を被らないように支援する国の制度です。自らの判断能力が低下した場合に備え、成年後見制度を早めに活用して、自分の老後は自分で守ることが大切です。

核家族化、高齢化、扶養意識の変化に伴い成年後見制度の普及を図るためケアマネジャー、介護福祉士、民生委員等を対象として権利擁護の講習会を開催する考えについてお尋ねします。

答 判断能力の不十分な方を法律的に保護し、不利益を受けないように支援するのが成年後見制度です。身近な人が権利擁護の必要性を早期に発見し対応するのが重

要であり、家族や親族のほか民生委員、ボランティア、ケアマネジャーなど本人の状況を良く理解している方々に早期の段階から相談できる体制を整備していく考えです。制度を利用するため一般会計並びに介護保険特別会計で予算を計上してあります。福祉課ではパンフレットを作成し周知に努めています。



※絵は厚生労働省ホームページより

問 羽中の大規模農地の除草はいつ刈るのか

答 農地所有の業者へはお願いしている **若 泉 昌 寿 議員**

問 羽中地区にある未来ファーム所有の農地については、葎が茂っているため除草の指導をしていただくよう昨年12月の議会の一般質問でも取り上げました。しかしながら羽中側は3月になっても未だに除草されず周辺住民は大変心配しております。そこで再度お聞きします。町から業者をお願いをしているとのことですが、本当に強くお願いしていただけたのでしょうか。業者は、「大型除草機の都合が合わない」「農地の地盤が緩く機械が入れない」等の言い分ようですが、以前何度となく除草しているので機械が入れないことはないと思います。要するにやる気がないと思います。住宅の無い方は除草し、住宅のある方は刈らないのでは、周辺住民は火災などを危惧し困っています。毎年のごことで迷惑し

ています。夏場の環境、冬場の火災など、両面から考えて日頃から徹底管理していただくよう強く言っていただけないでしょうか。

答 羽中地区にある大規模農地の葎刈りについては、昨年12月の議会で若泉議員から言われておりますので、業者にお願いしました。布川地区側の方は、ほぼ除草が完了していますが、羽中地区側は機械で入ろうとしたところ、地面が軟らかく作業ができなかったとのこと除草されていない状況です。あくまでも、民地ですので草刈りに関しましては、町としてはお願いすることしかできないので、今後も現地パトロール等を実施し注視していきます。

問 住民協働事業の支援について

答 住民協働事業補助金制度を創設している **大越勇一議員**

問 「住民サービスの向上について」本町においても少子高齢化が著しく進行して、人口が減少傾向にあります。平成5年3月末21,010人をピークに年々人口が減っております。2045年利根町の人口は7,853人で現在より50.5%の減となり人口が半分以下になります。子育て支援、教育環境、若者の移住、定住を柱とした各施策や事業の着実な実行と効果検証により、必要な見直しを行っていく事が重要だと思います。私達が、日常生活を送るために必要な各種サービスは、一定の人口規模のうえに成り立っております。人口規模を割り込む場合には、地域からサービス産業の撤退が進み、生活に必要な商品や、サービスを手に入れることが困難になるなど、日常生活が不便になるおそれがあります。また、人口減少は地方財政にも大きな影響を及ぼします。人口減少に歯止めをかけるには、

住民サービスの向上が喫緊の課題であり、「魅力あるまち」にすることが必要です。佐々木町長の指揮のもと、町は住民サービスの向上について日々ご尽力を頂いているところですが、さらなる向上を期待して「町民との住民協働事業の支援について」伺います。

答 町では、住民協働事業補助金制度を創設し、住民団体の活動を支援して協働のまちづくりを推進しております。本補助金制度は、住民団体が実施する公共的な事業について町に提案をしていただき、審査の上、補助金を交付するものとなっております。今後につきましても、この制度を活用し、住民団体の自立と発展を支援することで協働のまちづくりの推進を図ってまいりたいと考えております。

問 防犯カメラの増設について

答 茨城県の補助金を利用して2台増設する **山崎誠一郎議員**

問 3年前の町議選で、防犯カメラの増設を公約として立候補した。当選後、最初の議会で防犯カメラの増設について質問をした。その際の答弁は、警察等と協議の上、必要に応じて設置していくとの答弁。その後、私は取手警察署及び利根地区交番へ複数回訪問し、また、私の自宅でも複数回協議をさせていただいた。そして、昨年5月に私の仲介で取手警察署生活安全課と防災危機管理課との打ち合わせを役場内で実施した。現在の犯罪は防犯カメラによる検挙が数多く報告されている。「利根町は防犯カメラを増設し、安心安全に努めている」という事を対外的に周知する事が犯罪の抑止に繋がると思う。防犯カメラの増設の考えについて伺う。なお、増設以外にも、現在設置されている防犯カメラを、高性能カメラへの交換も検討いただきたい。

答 県補助金を活用し来年度内に2台増設する。今後も取手警察署と協議し、設置費用等を考慮のうえ増設を検討する。

問 本町や近隣自治体でも人口流出が続いていたが、コロナ禍によるリモート勤務等の影響で大きな変化が生じている。大都市圏へ移住しなくても、ICTの活用等によって在宅等でも仕事ができるからだと思う。近隣自治体でも取手市などが人口増加に転じた。そのような中で本町も、利根町の魅力を活かした非常にタイムリーなPR動画3本を作成した。インターネットを活用した効果的な取り組みと感じた。今後の町の取り組みを伺う。

答 移住促進に関するPR動画、マイホーム取得助成金及び利根町わくわく茨城生活実現事業移住支援金等の支援策の充実に努め、定住促進に繋げていきたい。

一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 大地震での当町の被害想定は

答 震度6弱で死者1名負傷者23～42名想定 **片山 啓 議員**

問 本町での大規模地震の被害想定をしているのでしょうか。

答 首都直下型地震マグニチュード7クラスで被害想定は、利根町最大震度6弱、建物被害全壊・焼失47棟、半壊448棟、人的被害が死者1人、負傷者23～42人、避難が905人、被災直後のライフラインについては、停電率88%、断水率92%としています。

問 大きな被害が想定されていますが、今までは震度5強を想定した訓練でした。今後、震度6強や7を想定した訓練をする予定はありますか。

答 より被害の大きい地震に対応した訓練も必要と考えます。

問 訓練に多くの住民の参加が必要と考えますが、過去の訓練には多くの地区が参加していない現状をどう考えますか。

答 訓練日程を早めに地区に知らせるなど、地区の行事日程に訓練を追加していただくよう努めています。来年度は11月6日予定です。

問 水害と地震の複合災害は、利根川を抱える当町では起きる可能性があります。災害対応には最悪の状況を想定することが重要と考えるが、町はどう考えますか。

答 町民の皆さんに常に危機感を持ってもらうことが重要だと考えます。その為、町が行っている「出前講座」を利用して頂き、その時に皆さんの疑問にお答えするなど周知していきたいと思えます。

問 受援体制強化をどのように考えているか

答 別途、受援マニュアルを作成していきたい **石山 肖子 議員**

問 利根町の地域防災計画のなかで、受援体制強化をどのように考えているか。

答 別途、受援マニュアルを作成していきたいと考えている。

問 高齢者や女性、外国人など多様な避難者、被災者への配慮は。

答 地域防災計画に記述するか、別途ガイドラインで作成するか、何らかの方法で公表できるように検討していきたい。

問 避難所の運営等は、職員の皆さん方でも手が回らないと思う。町民・町内事業者の役割の明示は。

答 平時の心構えと災害時にやるべきことなどが明示されている。「防災の手引き」の定期的な改定も行っていきたい。

問 ICT部門の事業継続についての記述は。

答 現在作成中の業務継続計画の中で明示していきたい。

問 東海第二発電所における原子力災害時の記述は。

答 広域避難の詳細は協定書に記載、地域防災計画への記載は概要程度となる。

問 ヤングケアラー支援の進捗は。

答 県は中学生、高校生対象の全県的な実態調査の必要性を示している。



国連の持続可能な開発目標 (SDGs) 3、4、8、11

問 小中学校の臨時休校の状況は

答 県の要請により実施

問 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、臨時休校に至った経緯を伺う。

答 県教育委員会から小学校に対しリモートによる学習指導の実施等と分散登校の併用が要請され、リモートによる対応をした。中学校は、通常授業を実施。その後、小学校の臨時休校期間を延長するよう県教育委員会から要請があり、休校期間を延長した。

問 授業の遅れの対応策をどのように考えているか伺う。

答 授業の遅れについては間違いなく課題がある。現在、校長会と連携し、子供たちの実態に合わせながら本年度中に学習内容を終わらせるよう指導している。一部教科の学習内容は次年度の年間計画に位

問 給料の値上げは正しい判断だと思うか

答 給料に見合った職責を果たす

問 給料等の引き上げは正しい判断だったと思いますか。

答 答申の検討材料とされた財政状況等も、より改善されていることを確認し、上程しました。議会において賛成多数で可決されたので、将来の議員や町政を目指す方々、特に若い方々にとって未来が開けたと感じております。

問 土地改良事業は、町の大きな産業の創出になると思うが。

答 考えているが、どうやったらいいのか難しい。議論しながら成功するようにと考えている。議員も一生懸命要望出して頂いて、人を呼べる観光的なものを、

花 嶋 美清雄 議員

置づけ、次年度の学習と併せて指導するよう工夫していく。リモート学習で学習した内容についても補充学習に取り組み、児童一人一人の学習の保障を図っていく。

問 フレッシュタウンの街路樹であるイチョウの枯れ葉が秋になると住民を悩ませている。町の対応を伺う。

答 フレッシュタウンの自治会より、町で枯れ葉の回収を行うことができないかという要望があった。町が枯れ葉等の回収等を行った場合の費用を試算したところ、400万円を超える予算措置が必要となることから、ほかの地区との整合性を図る観点からも、フレッシュタウンの自治会のみを回収することは難しい。住民の皆様には回収等の御協力をお願いしたい。

井 原 正 光 議員

一緒になって作っていきたいと考える。

問 法令遵守について。若泉議員は、法律に触れているのか。

答 法律に触れているか触れていないか、この場で判断すべきではないと考えております。議員の兼業禁止、請負等の禁止、違反の場合は政治倫理条例を尊重し、議員が審査請求し、町長が政治倫理条例審査会に提出し審査を求めます。その段取りを踏んでください。

一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 統合後の放課後児童クラブの運営は

答 現在の児童クラブ3カ所を継続して利用 **石 井 公一郎 議員**

問 文小学校、文間小学校を布川小学校に令和5年4月1日に統合し、利根小学校とする。統合後の1カ所での放課後児童クラブの運営は、学校生活の延長上で同じ敷地内で運営することが理想的、現在の布川小学校では賄いきれない。今後、準備委員会の中で、保護者、地域住民の方の意見を伺いながら進めていく。その進捗は。

答 現在ある3カ所の児童クラブを継続していく方向で検討している。現在の児童クラブ3カ所を利用しないと子供たちを賄いきれない状況であり、統合準備委員会は、現在の3カ所の児童クラブをそのまま継続して運営する。質問や提案をいただきながら検討していく方向で考えている。

問 町長から、鎌倉街道は、町指定史跡であることから駐車場、トイレは必要になってくることは確かだ。いろいろな

問 エレベーターチェア設置の考えは

答 備える方向で準備していく

問 地震の震度により、国や県からの町に対する支援に影響はあるのか問う。

答 災害救助法・激甚災害法どちらも被害状況で判断するため、震度による影響はないと考える。

問 町内ドラッグストア2社と「災害時における物資の供給協力に関する協定」を結んでいるが具体的な活用方法を問う。

答 流通の停止や避難が長引く時、町の備蓄品が不足した時等、2社のネットワークにより優先的に物資を提供して頂く。

問 町の公共施設における、エレベーター内での災害時対応について問う。

答 地震の初期微動を感知すると安全装置が作動し、最寄りの階に自動停止し扉が開く。システムが安全確認後に自動復

方向から検討するとの答弁がありました。現在の進捗状況について伺います。

答 根本寺の方から入るのでは遠いのかなと思ったり、真ん中辺に土地を購入して、その場所で造ったらいいか。いろいろ話をしている。しばらく待っていただければトイレの方はなんとかなるのかなと。駐車場は簡単に入っていける場所を見つけようと考えているところです。

問 旧東文間小学校跡地の利活用方法はどのような方針で進めてきましたか。

答 学校の跡地等利活用計画に沿って進めている。名古屋市の事業者が、校舎、グラウンドを活用して、キクラゲの栽培、事業実施に向け協議中。土浦市の事業者がプールを活用して、マス・ウナギの養殖の話があり町は賃貸条件等を説明した。

船 川 京 子 議員

帰するが、しない場合は日立ビルシステム 取手営業所エンジニアにより再起動を行う。

問 エレベーターチェアは災害時に必要な飲料水などの非常用物資や、カイロ、冷却ジェルなどが収納される。また非常用トイレとしても使用でき、目隠しにもなる保温用アルミシートもある。エレベーターチェア設置についての考えを問う。

答 大地震等での万が一に備え、設置する方向で準備していきたい。

問 かかりつけ耳鼻科・眼科への通院に公共交通で対応する考えがあるか問う。

答 町に耳鼻科や眼科がないため町外に通院する方がいると認識している。今後のJAとりで総合医療センターへの利用状況を踏まえ考えたい。

議 会 活 動

委 員 会 活 動

利根町議会議員定数調査特別委員会

〈報告〉 定数調査特別委員会 山崎 誠一郎 委員長

本委員会は議長を除く議員全員で構成する特別委員会で、令和3年12月10日の本会議において設置されたものです。

今年になり、第1回委員会を1月19日、第2回委員会を2月21日、第3回委員会を4月15日に開催いたしました。

内容としては、少子高齢化を迎えた本町において、議員の適正数を調査・研究するもので、全委員の考え方を出し合い、様々な視点で議論しました。

また、会議の中で「議会基本条例第16条中に、定数及び報酬の決定に当たっては、行財政改革の視点だけでなく、住民の意思の反映、町政の現状と課題、将来の予測と展望を十分に考慮するもの」とされていることから、町民の皆様のご意見を聴取すべく意見聴取会の開催が決定されました。

今後とも、本町の議員適正数について調査検討してまいります。

〈意見聴取会〉

日時：令和4年6月25日（土）
第10回議会報告会終了後
場所：利根町文化センター
多目的ホール



第10回議会報告会及び 議員定数に関する意見聴取会開催のお知らせ

昨今の新型コロナウイルスの感染状況が改善傾向にあることから、下記のとおり第10回議会報告会の開催が決定しましたのでお知らせいたします。

開催場所については利根町文化センターに変更となっております。お間違えの無いようお願い申し上げます。

また、議会報告会終了後に、利根町議会議員の定数について町民の皆様のご意見を聴取する機会を設けることとなりました。是非、皆様のご意見をお聞かせください。

ご自宅にて平熱であることをご確認の上、マスクを着用してご来場ください。

▽日 時 令和4年6月25日（土）午後1時30分～

▽場 所 利根町文化センター 多目的ホール

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催を見合わせる場合があります。

利根町議会日誌（令和4年1・2・3月）

活動内容	
1 月	
9	令和3年度利根町成人式典
19	広報編集委員会
〃	利根町議会議員定数調査特別委員会
25	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会
26	議会運営委員会
〃	令和4年第1回議会臨時会
2 月	
1	令和4年第1回茨城県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
10	厚生文教常任委員会
14	令和4年第1回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会
17	令和4年第1回茨城県南水道企業団議会定例会
18	令和4年第1回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会定例会
21	利根町議会議員定数調査特別委員会
〃	議会運営委員会
〃	令和4年度予算内示会
22	令和4年第1回茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
25	令和4年第1回龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会
3 月	
2	令和4年第1回議会定例会（～17日）
15	議会運営委員会
17	全員協議会
30	町村自治功労者表彰式

お知らせ

町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

第1回臨時会（1/26）の傍聴者数は、1名。

第3回定例会の傍聴者数は、延べ70名でした。

※本会議の様子をYouTubeで配信しています。

こちらから⇒



利根町公式ホームページからアクセスできますので、是非チャンネル登録をしてご覧ください。これまでライブ配信したものもご覧いただけます。

○次回の定例会は、令和4年6月2日（木）から開催する予定です。

町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は「利根町議会会議録」をご利用ください。

こちらから⇒



利根町議会会議録は、図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

発行／利根町議会・議会広報編集委員会

発行責任者／利根町議会議長 新井 邦弘

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 0297-68-6910

編集担当／石山 肖子・山崎 誠一郎